

第25回 宍粟市総合教育会議

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和7年1月17日 午後4時00分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第25回 宍粟市総合教育会議 会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和7年1月17日（金） 午後4時00分～午後4時40分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所 4階 402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

構成委員

福元晶三	市長	中田直人	教育長
片山繁樹	委員	金本一二	委員
飯田さおり	委員	中川まゆみ	委員

事務局

大谷奈雅子	教育部長	大砂正則	教育部次長
鳥羽千晴	教育総務課長	中田 吏	学校教育課長
小池信仁	こども未来課長	清水将道	社会教育文化財課長
大田貴久	施設整備課長	柴原宏二	山崎学校給食センター副所長
嵐ゆかり	人権推進課副課長	中尾善弘	市民生活部次長
西岡公敬	一宮市民局副局長	岩本浩二	教育総務課副課長

1 開会

● 福元市長あいさつ

教育委員会から引き続いての総合教育会議となりますが、よろしくお願いします。

今年は、宍粟市が市制20年となりまして、これまでの市民の皆さん方との歩みを次の10年、20年に伝えていかなければならない大変重要な節目の年であると思っております。

その中でも、今日の少子高齢化の中でこれからの未来を考えたときに、やはり教育の分野は非常に重要な普遍的な課題だと考えており、教育委員の皆さん、また、教育委員会と行政が力を合わせながら市全体で未来に向かっていく必要があると思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

今日は、令和7年度の予算編成について、事務局より説明をしていただきますが、それぞれ委員の皆さんからのご意見やご質問などをお聞かせ願いたいと思います。

とりわけ小中学校の体育館の空調設備については、先般の臨時議会で、中学校を予算化し、来年度には小学校の整備と、なるべく早く整備をさせていただきたいと思っています。

同時に、学校の長寿命化についても、令和7年度の山崎西中学校から順次、計画をお願いしております。

また、去年から中学校の部活動の地域移行について説明を受けておりましたが、教育委員会

事務局より部活動のコーディネーターの配置について、社会で活躍している方で学校教育との調整機能を持った人材を登用させてほしいというすばらしいご意見を頂きましたので、まだ確定ではありませんが、なんとか努力していきたいと思っております。

また、情報モラル事業についても、新しい提案を事務局から頂いております。

教育委員会事務局より、今日的な課題や温暖化にもしっかりと対応していこう、未来を向いていこうといった内容の提案をしていただき、大変ありがたく思っています。

この後、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 協議報告事項

(1) 令和7年度の予算編成について

● 教育委員会事務局からの説明

資料1P～4Pにより、令和7年度の現時点における教育委員会所管の事業に関する予算編成について、各担当者より説明をした。

学校教育課長より、追加報告として、部活動の地域移行にあわせて、地域スポーツの振興担当部署や社会教育、生涯学習担当部署、地域スポーツ団体、学校保護者など多岐にわたる関係者等との連絡調整を行うための部活動コーディネーターの配置事業及び児童生徒の情報活用能力、情報モラルの向上のため、全ての学校に対して、講演会・講習会を実施するための事業計画を説明した。

● 委員からの意見及び質問並びに事務局からの回答等

(片山委員)

学校教育課の新規事業で、部活動コーディネーター配置事業とありますが、学校教育課に1名のコーディネーターを配置するという要望でしょうか。

(学校教育課長)

学校教育課への配置を考えております。

(金本委員)

学校教育課の新規事業で、情報モラルの説明がありましたが、スマホやタブレットを使用する中で、視力の低下がどれくらい進んでいるのかを調べることも大切だと思います。

時間を決めてスマホやタブレットを使用することの徹底なども、これからの児童・生徒の健康を保つ上で大事なことだと思います。また、電磁波などの体への影響も考えていただきたいと思います。

(学校教育課長)

現在、各小中学校で情報モラル研修を行っており、専門的な業者やICT機器等の使用に長けた専門家から、その危険性などを学ぶ研修となっています。

今回の事業は、児童生徒の目線に立って、実施前には、児童生徒向けのアンケートを実施をするなど、児童生徒の実情や現状に即した啓発動画なども作成しながら進める予定で

あり、今までとは違う切り口からの研修が実施できると思っています。

委員がご指摘された電磁波の影響や視力の低下等の健康面の内容も含んだ研修にできればと考えています。

(中川委員)

中学校の部活動の地域移行実証事業について、検証を進めると説明がありましたが、概ね何年ぐらいには進めるといった目標時期はあるのでしょうか。

(学校教育課長)

兵庫県教育委員会の基本的な計画や推進方針では、地域移行の第1の出発点が、令和8年4月となっています。令和8年4月には、土曜日と日曜日の部活動については、教職員の手を離れて、地域で進めることができるよう各自治体で検証を進める計画が出ていますので、宍粟市としてもそこを目標としながら、現在、協議会等でどのように実施することができるか、可能性を探っているところです。

(片山委員)

市長から令和6年度の補正予算で、中学校の空調設備の着手について、特例交付金の活用など財源の問題をクリアして小学校へ拡充していくとお聞きしましたが、施設整備課による小中学校の体育館の整備の他に、体育館は避難所にもなるので、できれば市長公室の危機管理課からも避難所運営のための空調設備として、両方から進めていけばよいのではないのでしょうか。

(福元市長)

体育館の空調設備整備について、国の交付金の活用など財源の見通しが立ちましたので、先般の臨時議会で、先行的に中学校に取りかかるため、補正予算で対応しました。

ただ国の新年度予算の方向が不確定ですので、令和7年度では、方向が決まったらすぐ始められるように設計を進めるための予算を当初予算に計上し、国の状況や財源の全体的な状況の情報が分かった段階で設置に係る補正予算を組み、令和8年度から令和9年度に整備を進める方針を決めました。

避難所については、広域的な避難所として、山崎スポーツセンターやスポニックパーク一宮などがありますが、それぞれ耐用年数が迫ってきておりますので、大規模改修をしていくのか、あるいは新しく建てたほうがいいのかなども含めて、令和7年度に在り方の検討を始めていく予定です。

方向性が定まったところから、順次、施設の空調設備整備を図っていくという方針は決定しました。避難所については、そういった形で整備を図っていきたいと思っています。

私のほうからもう1点報告します。

城下幼稚園の跡地活用についてですが、教育委員会も含めて内部で協議を進めておりましたが、一宮・波賀・千種に市民協働センターを設置し、子育てや相談業務、行政機能、福祉など集約しておりますが、これらの市民協働センターの役割とまではいかないが、住

民の皆さんの憩いの場として整備をしていきたいと思っています。

特に、木育という観点で情報発信の拠点として、屋内の子どもの遊び場や市民の皆さんの交流拠点として、限られたスペースの中ですが子育てを支える施設として、令和7年度から2か年での再整備を予定しています。また、城の子公園と一体的に利用できる宍粟市民の皆さんの集いの場として、整備をすすめる方向性を城下自治会長さん方にも説明したところであります。

城下幼稚園の跡地として、しっかり地域に開かれたものにしたいと考えています。

3 閉会

中田教育長が閉会した。

会議録署名 市 長 _____

教 育 長 _____